

もり エコ森林通信 vol.3

～エコ森林隊とエコ森林の謎～



エコ森林通信 vol.2 では、2020年8月20日にエコ森林に行った際に確認された植物のお話をしました。今回は、その時のこぼれ話をお伝えします。

vol.2 では、エコ森林の林床にはササがそれほど多くないとお伝えしましたが、確かに斜面を登り尾根部の平坦面に行くと、ササは多くはありません。

しかし、林道からエコ森林の斜面を見上げると「本当にここを登るのでしょうか?」と言ってしまうようなササの繁茂する斜面となっています。

右の写真は林道からその斜面にアタックしている今回のエコ森林隊です。先頭は、元取締役で私たちがエコ森林の番人と呼んでいるUさん、真ん中は陸域環境チーム最年少のMさん、その後ろはドイツからインターンシップに来ているLさん、そして私(W)の女子3人です。



番人Uさんは女子3人を引き連れて、颯爽と斜面を登っていきます。

斜面を半分ほど登ると、ササが少なくなってきましたが、なかなかの斜度です。この日は生憎の雨模様で、足元が滑りやすく、斜面を登る時は周辺のササや木を掴んで滑り落ちないように足元に注意しながら登っていました。

途中で番人Uさんが「あの木に『キ』って書いてあるよ」と指差しました。

下ばかり見ながら登っていた私たちが、一斉に斜面上部を見上げると、本当に『キ』の形に皮を削られたトマツの大径木が立っていました。

それを見てひとしきり笑った私たちは、さらに上を目指しました。

ちょっと疲れた私たちに笑いのエネルギーを与えてくれた番人Uさんに感謝です。この『キ』はエコ森林の七不思議に認定です。



この続きは、また次号以降で。